

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こども家族みらい応援団 オバフロ（児童発達支援）			公表日 令和8年10月14日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	・適切であると思う。 ・遊具の所は事務室から見えないが、広く全体を見られる所もあるので、そこに職員を配置する等して工夫している。 ・机の配置や遊具の場所など分かれて置かれており、のびのびと体を動かせるようスペースを確保している。	・こどもが10人になると少し狭く感じる場合もある。 ・個室がないため、必要に応じたパーティション等間仕切りの設置を検討し、落ち着いた場所を確保したい。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8	0	・職員定員は足りているので、密にこども達と関われていると思う。 ・こども少人数に対し、職員が多数おり、密に関われる配置になっている。 ・職員の配置数は、多い時で8名と基準人員より多く配置し、こどもに合わせマンツーマンでの支援等が可能である。	基準よりも多く職員を配置しているものの、それでも急な欠勤等あった際は体制が弱くなってしまふことから、職員の新規採用も検討。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0	・柱の角等にコーナークッションを設置し、安全に配慮している。 ・絵を描いたり、制作をする時は机に、身体を大きく動かす所や玩具で遊べる場所等明確になっている。	・収納スペースが少ない。 ・掲示物により、『こどもが見て分かる視覚支援』に取り組む。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0	・支援後の掃除、除菌をしている。 ・毎日2回掃除をし、消毒をしている。 ・こどもたちの帰宅後は、必ず施設の掃除、玩具の消毒等を毎日している。 ・こども達の活動に合わせた空間で、リラックスできる環境になっていると思う。 ・毎日室内を清掃し、清潔を保っている。活動によっては机の場所を変えたり等工夫している。	・夏場、遊具のスペースが奥まっているので、空調が届かず暑いと感じることがあり、サーキュレーターなどを置いてはどうかと思った。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	・個室というものは無いように思うが、必要に応じて事務所内で支援をすることも出来ている。	・パーティションや室内用テント等設置による落ち着いた過ごせる空間の確保。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	・毎週木曜日に会議をする機会がある。 ・支援終了後は、その日の様子など職員間で共有し合ったり、考えたりしている。 ・人事評価の中で半年に1回目標を設定し、それに対する自己申告の上、目標を達成できたか否か等振り返りを行いPDCAサイクルに繋げている。	個々の目標だけでなく、職場全体の目標が定まることで、よりPDCAサイクルにもつながると考えられることから、職場全体の目標設定も検討。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・送迎時等保護者との会話の共有がある。 ・保護者向け評価表をまだ拝見できていない。 ・保護者からの評価を真摯に受け止め、職員間で情報を共有し、改善を図った。	保護者からの評価を真摯に受け止め、業務改善につなげる。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	・毎週木曜日にその機会を設けている。 ・個別面談を行い、設定した目標に対する評価などを行ってくださっている。 ・職員同士の仲も良く、その都度思いや考えを共有し話し合うことが出来ている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	5	・市役所の運営指導を受け、業務改善に努めている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0	・以前、研修（講義）を聞く機会がありました。 ・研修のDVDを視聴したり、個人でも行ける研修を紹介して下さっている。 ・職員一人ひとりが研修を受けられる機会をいただいている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・公表されている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0	・保護者からの声をもとにアセスメントを行い、個別支援計画が作成出来ている。	保護者から聞き取ったこどもや保護者のニーズや課題だけでなく、見学・体験時等こどもと直接関わった全職員で気付いたこと等を出し合い、支援計画を練り上げていく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0	・木曜日の会議 ・毎週木曜日に会議を設けている。	上記に同じ。

適切な支援の提供	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	・木曜日の会議 ・個別支援計画作成後は児童別個人ファイルに入れていつでも閲覧できる状態なので、出来ていると思う。 ・会議の際に支援している職員の意見やこどもたちの様子を細かく聞いて支援計画を立ててくださっている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	0	・木曜日の会議 ・ボディチェックやこどもたちの表情をよく見て確認出来ていると思う。 ・年齢に応じたアセスメント整理シートやスキル確認シートを活用し、こどもの適応状況を確認している。	職員一人ひとりがこどもの適応行動の状況を把握、職員全員が適切な支援を行えるようにする。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	・木曜日の会議 ・ねらい及び支援内容も踏まえ、具体的に支援内容を設定している。	・個別支援計画作成の研修受講等検討。 ・支援内容をどう実行していくか等々、更に共通理解を深めていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0	・立案をし、相談後、チームで共有して出来ていると思う。 ・活動プログラムはみんなで考えている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	・毎日工夫をして、こどもたちに楽しんでもらえるようにできていると思う。 ・クッキング、サーキット、制作、公園遊び等様々な活動を取り入れている。	・他事業所との連携等々により活動プログラムが固定化しないように知識を増やし、支援技術を高めていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・こどもたちの状況に応じて個別支援計画が作成出来ている。	全職員が、その活動の目的とねらいを意識して支援していく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・声をかけあり、チームで連携している。 ・毎日朝礼を行い、チームで連携出来ている。 ・保護者の方からの連絡や子どもの様子、どのような活動をするか等ミーティングをしている。	支援内容、役割分担等更に詳細な打ち合わせを行い、連携を密にする。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	・昼食後、休憩中ではあるが、（休憩が終わっている人もいる）みんなで共有出来ている。 ・記録や連絡帳を書く際に日々のこどもたちの様子やできるようになってきていること、苦手そうなことなどを職員間で話し合い、共通理解している。 ・支援終了後に必ずみんなで振り返りを行っている。 ・一人ひとりの職員の感じたこと、気付いたことを振り返り共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・職員間で共有し、検証、改善をその都度行っている。 ・子どもが退所後、記録を書く時間が設けられている。	・記録の記載にとどまらず、支援の検証や改善につなげていく。
関係機関や	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0	・保護者の意見等適切に見直しを行っている。 ・定期的にモニタリングを行っている。	6ヶ月を待たずとも、クリアしている目標があれば見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っている。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	・出来ていると思う。 ・こどもの状況を把握した管理者兼児童指導員が、保護者、関係機関、幼稚園等との連携会議に出席している。	会議結果を全職員に共有し、今後も支援の検証や改善を行っていく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0	・連携会議を行っている。	今後も関係機関と連携を図り、関係機関等と連携して支援を行う体制を更に整えていきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・共有・相互理解を図ることが出来ていると思う。 ・幼稚園等に赴き、幼稚園等での状況を確認、幼稚園教諭等と支援内容等の情報共有と相互理解を図っている。	併行利用している他事業所へ積極的に見学に行き、他事業所での活動状況の確認や情報共有と相互理解を図っていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	・相互理解を図っていると思う。 ・保護者とともに特別支援学校の見学説明会等に参加した。	来春就学予定の児童もいることから、就学後に児童や保護者が困らないように引き継ぎを行ってきたい。
関係機関や	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				

保護者との連携	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	2	6	・連携を図り、その後は共有してくれていると思う。 ・指定相談支援事業所と連携を図っている。	今後更に連携を図り、現在取り組んでいる支援内容、また今後取り組んでいきたい支援内容等々について、指導・助言等をしていただき、日々の支援に活かしていきたい。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	1	・公園で遊ぶ時等は、他のこどもたちと一緒に活動をする機会がある。	今後、幼稚園等との交流や地域行事へ積極的に参加し、イベント等を通じて他の子どもと接する機会を設けていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・送迎時や連絡帳にて、保護者に伝え、共通理解出来ている。 ・日々の出来たことを連絡帳と写真でお伝えし、送迎時が自宅の時はその日どんな様子だったのか口頭でも伝えるようにしている。	今後も保護者交流会を実施し、もっとたくさんの方に出席していただけるよう曜日や時間帯等検討を重ね、更に保護者の方と話をする機会を増やしていきたい。
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1	・面談時等、求めに応じてアドバイス等実施しているが、家族支援プログラムや家族等の参加できる研修の機会等は行っていない。	今後、家族等の参加できる研修等を行ってきたい。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	・見学に来てきてくれた際や契約時に必ず出来ていると思う。 ・体験・見学時や契約の際等、管理者が説明を行っている。	今後も丁寧な説明と子どもたちや保護者に寄り添った支援をしていきたい。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	・保護者の意見、こどもたちの強みをもとに意向について話し合っている。 ・定期的なモニタリングで保護者の方の意向を聞いてくださっている。 ・体験・見学時や契約の際等じっくり時間をかけてアセスメントを行い、保護者等の意向を聴取している。	今後も子どもたちや保護者の方々に寄り添った支援をしていきたい。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	・必ず、同意を得ている。 ・面談の上、個別支援計画の読み合わせを行い、同意を得ている。	今後も保護者の方々等が理解しやすい個別支援計画の作成に努めていきたい。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	・保護者から悩みなどの聞き取りを行い、その後職員間で共有し、助言を行っている。 ・チャットを通じて悩みや思いを伝えてくださっている方に対しても、職員全体に周知し、返信されていた。 ・保護者から相談があった際は時間を設け、少しでも保護者の気持ちが悪くなれば必要な助言を支援を行い、保護者と寄り添うことを意識している。	相談しやすい環境作り、保護者の方々との人間関係の構築、現在の困りごと等、事あるごとに確認していきたい。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0	・一度しかしていないが、これからも保護者会をしてほしい。 ・8月に一度設けている。初めてだったため参加人数は少なかったが、今後も設けてほしいと思った。	今後も保護者交流会を実施し、もっとたくさんの方に出席していただけるよう曜日や時間帯等検討を重ね、更に保護者の方と話をする機会を増やしていきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	・連絡があった場合は、迅速に対応している。 ・その都度、話が出来る環境を作って対応している。	対応の体制を整備の上、子どもや保護者に周知し、相談等の際は迅速かつ適切に対応していきたい。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・毎月、スケジュールを送ってくれている。 ・Instagram等で情報を発信している。 ・Instagram等を定期的にあげ、写真をたくさん投稿し、支援内容が初めて見た人でも分かりやすいように文章を考えてくださっている。この事業所に期待！少しでも興味を持ってくださるように工夫している。 ・Instagramで外出支援や日常の活動の様子をのせたり、1ヶ月ごとのスケジュールを掲載している。	今後、年間・月間行事予定、イベントの開催情報、研修会の案内等々の通信を発行していきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・不要になるとシュレッダーをしている。 ・出来ている。 ・SNSで情報を発信する際は、顔を隠す等個人情報に配慮している。 ・利用契約時に保護者に対し個人情報の取り扱いについて書面を示しながら説明し、署名をいただいている。	今後も、個人情報の取り扱いには十分留意し、個人情報の施設外への持ち出し禁止、個人情報は鍵のかかる保管庫に保管する等を徹底していきたい。

非常時等の対応	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・配慮している。 ・書面や連絡帳アプリを使用して通知し、周知及び理解しやすいように配慮している。	今後も、口頭・書面・連絡帳アプリ等を使用して、より子どもや保護者の方々が周知及び理解しやすいように配慮していきたい。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	8		・まだ出来ていないと思う。 ・各種イベント等を実施し、地域住民と交流する機会を増やしていきたい。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	・マニュアルを策定し、職員間で共有出来るようにしてくれているし、訓練も実施している。	・いつ、どんな時でもすぐに動けるように、訓練を重ね、もっと練度を高めていきたい。 ・施設出入口に運営規程や各種マニュアル等を設置しているが、周知されていないため、周知していきたい。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0	・行っている。	職員間で話し合いながら必要な訓練を実施し、練度を高めていきたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	・個人ファイルにて情報を共有している。 ・職員間でこどもの状況を把握している。 ・利用契約時等書面にて保護者から聞き取りを行い、喘息発作時は水分を取らせる等職員間で周知している。また、発作が起こった際は、送迎時保護者に報告をしている。	利用契約時のみならず、今後も保護者と連携を密にし、子どもの状況を確認していきたい。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	・個人ファイルに書いてある。 ・されていると思う。 ・利用契約時等面接にて保護者より聞き取りを行い、配慮が必要な場合は職員間で周知している。	今現在、医師の指示書を必要とするような児童は在籍していないが、今後そのような児童が利用となった場合は、医師の指示書に基づく対応をしていきたい。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0	・出来ていると思う。	必要な研修や訓練を定期的実施、振り返り等々を行い、十分な安全管理の中で支援ができるよう努めていきたい。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0	・家族等へ周知しているかは分からない。	今後、家族等へ周知していきたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・再発防止のため、その都度職員間で話し合っている。 ・危なかったところを職員で共有し、特に壁の角はぶつかる可能性が高いため、なるべく角で子どもたちに背を向けないように立ったり等全員が工夫している。 ・その都度共有し、再発防止に取り組んでいる。 ・ヒヤリハットの書式を設けている。	書式の簡素化を検討し、発生の際はすぐに書き出せるようにし、必要に応じた対応策等職員間で話し合っていきたい。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・研修を行っている。 ・研修を受けさせていただいている。 ・新規採用時及び少なくとも年に1回は研修を実施し、虐待防止に努めている。	定期的に指針やマニュアルの見直しを検討し、研修を実施していく。また、外部研修にも積極的に参加していきたい。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	0	・今はやむを得ない身体拘束が行われるような子どもはいないので、個別支援計画への記載もない。	定期的に指針やマニュアルの見直しを検討し、子どもや保護者の方々に事前に十分説明して了解を得た上で、児童発達支援計画に記載していくよう努める。